

証券コード 9432



日本電信電話株式会社 会社説明会

2016年12月

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

・イントロダクション

・グローバル・クラウド事業

・国内ネットワーク事業

・2020に向けて

・株主還元

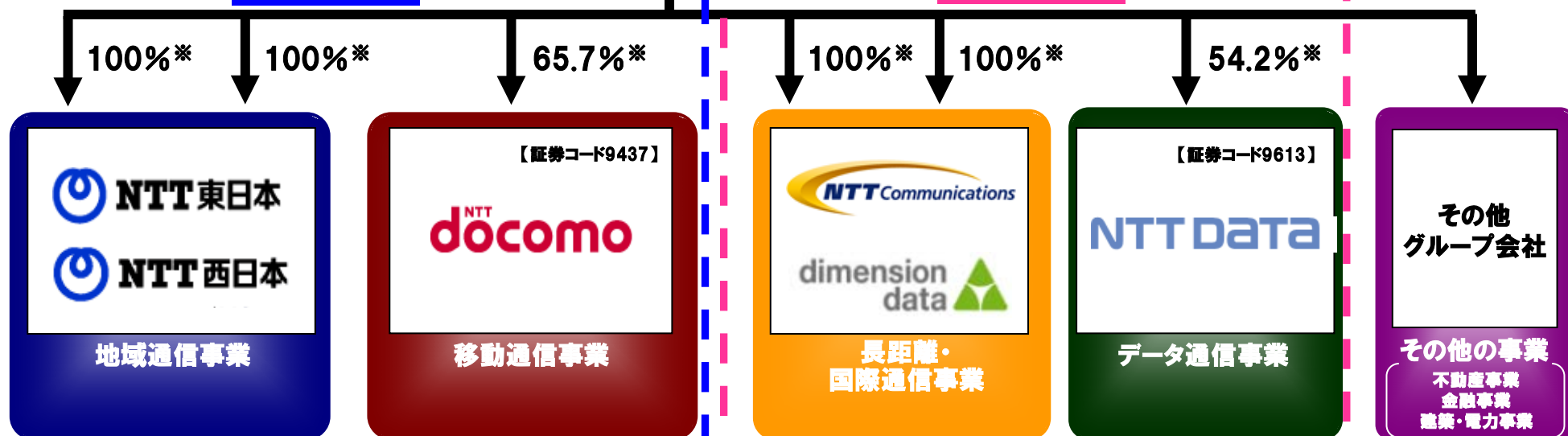


売上高 : 11.5兆円
従業員数 : 241,450名

※記載の数字は主要子会社に対する議決権比率(2016年3月末現在)

国内事業

海外事業



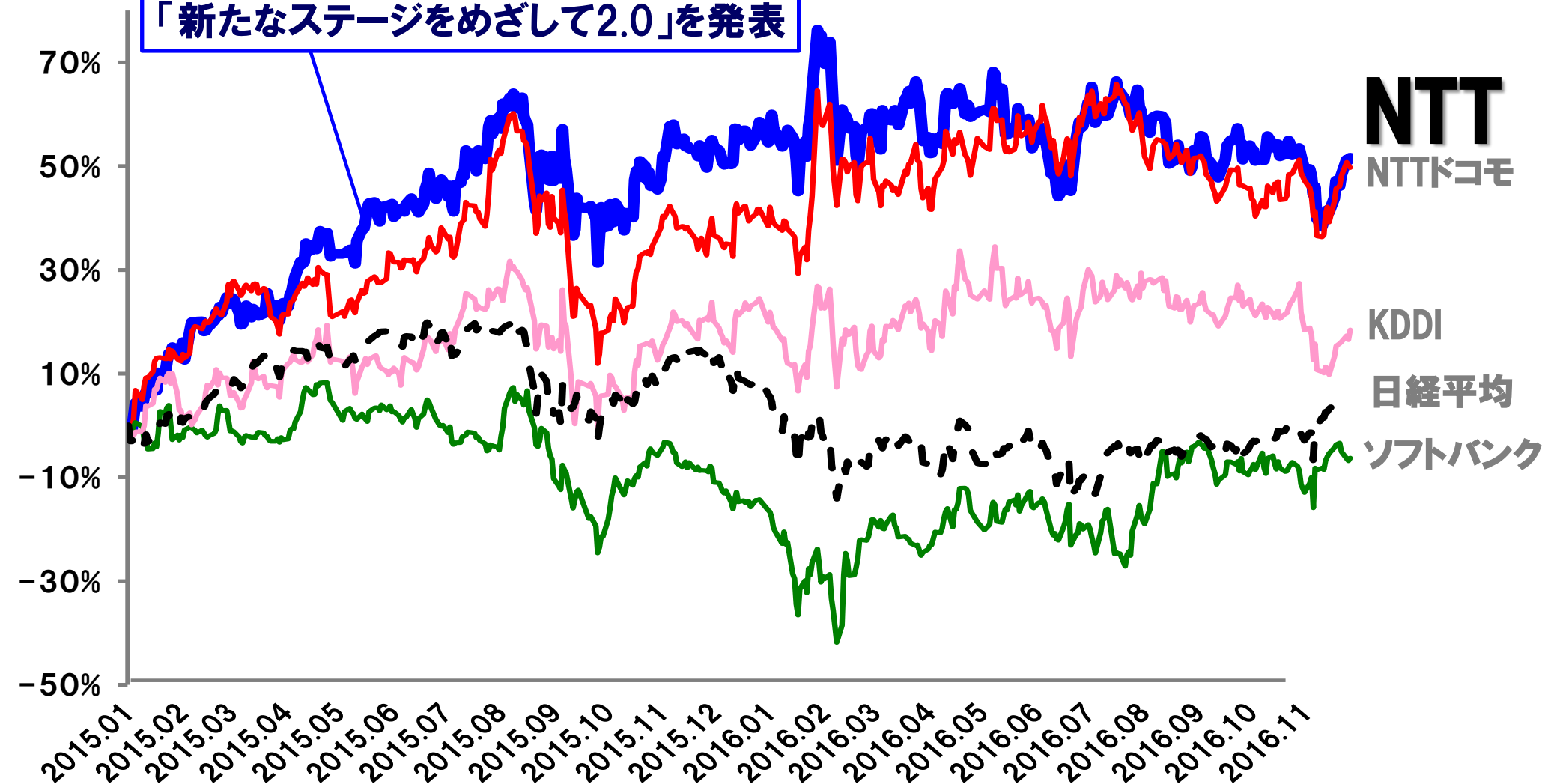
営業収益	34,079 億円	45,271 億円	22,509 億円	16,168 億円	12,945 億円
営業利益	2,650 億円	7,884 億円	967 億円	1,127 億円	740 億円
従業員数	66,200 名	26,150 名	43,750 名	80,550 名	24,800 名

(注) 2016年3月期。各セグメントの営業収益および営業利益は、セグメント間取引を含む。

NTT株のパフォーマンス(昨年初来の株価推移)



2015年5月15日
中期経営戦略
「新たなステージをめざして2.0」を発表



NTT
NTTドコモ

KDDI

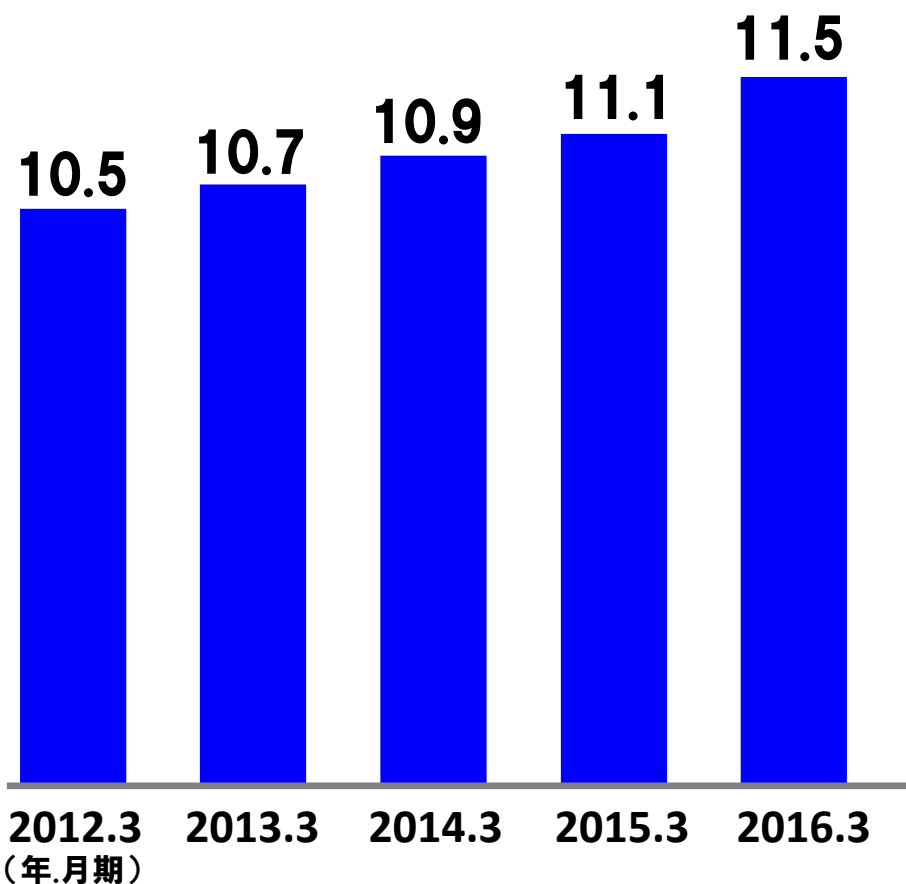
日経平均

ソフトバンク

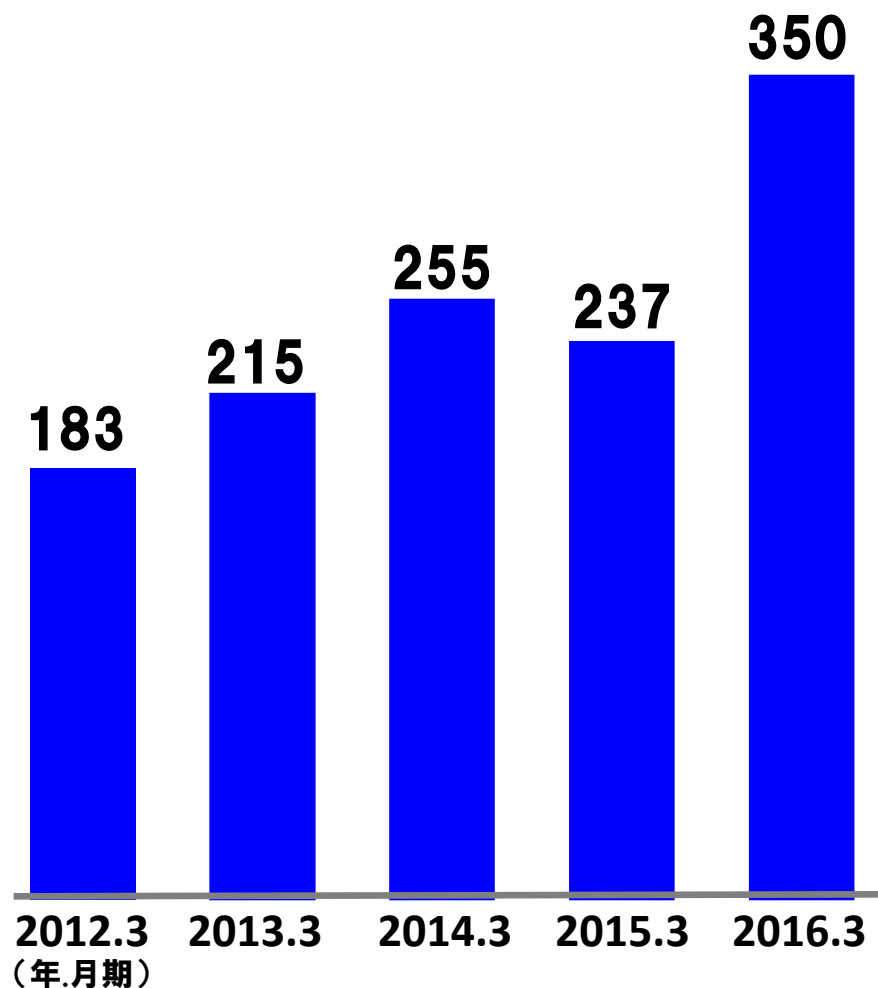
(注) 株価は2016年11月30日時点

	2012年11月発表 前中期経営戦略 「新たなステージをめざして 1.0」	2015年5月発表 (2016年5月一部財務目標見直し) 中期経営戦略 「新たなステージをめざして 2.0」
目標年度	2015/3期～2017/3期	2018/3期
EPS成長	EPS 60%以上成長 [対2012/3期] ⇒目標達成(91.1%)	350円以上 ⇒400円以上 2016年5月 見直し
海外売上高 海外営業利益	200億ドル(売上高) [2017/3期]	220億ドル 15億ドル
設備投資	Capex to Sales 15.0% ⇒目標達成(14.2%)	▲2,000億円以上 (国内ネットワーク事業) [対2015/3期]
コスト削減 (固定/移動アクセス系)	▲6,000億円以上 [対2012/3期] ⇒目標達成(▲6,500億円)	▲6,000億円以上 ⇒▲8,000億円以上 [対2015/3期] 2016年5月 見直し

営業収益(兆円)



EPS(円)



2017年3月期第2四半期 連結決算の概況



(単位:億円)

		2017年3月期 第2四半期実績		2016年3月期 第2四半期実績	2017年3月期 通期業績予想	2017年3月期 第2四半期実績 進捗率
		対前年同期増減額	対前年同期増減率			
営業収益	55,243	▲646	▲1.2%	55,890	114,100	48.4%
営業費用	45,978	▲2,577	▲5.3%	48,555	99,400	46.3%
営業利益	9,265	+1,930	+26.3%	7,335	14,700 (+400)	63.0%
四半期(当期) 純利益	4,761	+988	+26.2%	3,773	7,700	61.8%
E P S (単位:円)	230.9	+52.5	+29.5%	178.4	376 (+13)	61.4%

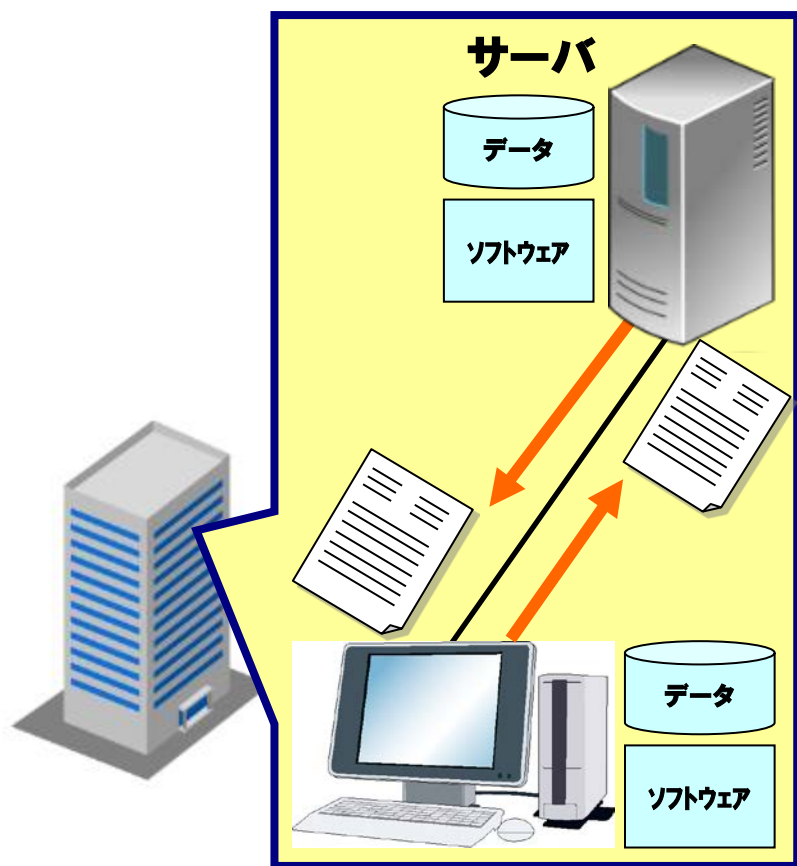
※四半期(当期)純利益は、当社に帰属する四半期(当期)純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

※赤字は当初の通期業績予想と見直し後の差額を記載しております。

- ・イントロダクション
- ・**グローバル・クラウド事業**
- ・国内ネットワーク事業
- ・2020に向けて
- ・株主還元

クラウド利用で設備不要・端末も自由

IT設備の「所有」から



クラウドによる「利用」へ





ウェアラブル
デバイス

コネクテッド
カー



ホーム
セキュリティ



スマート
メーター



クラウド
ゲーミング



SNS



ECサイト

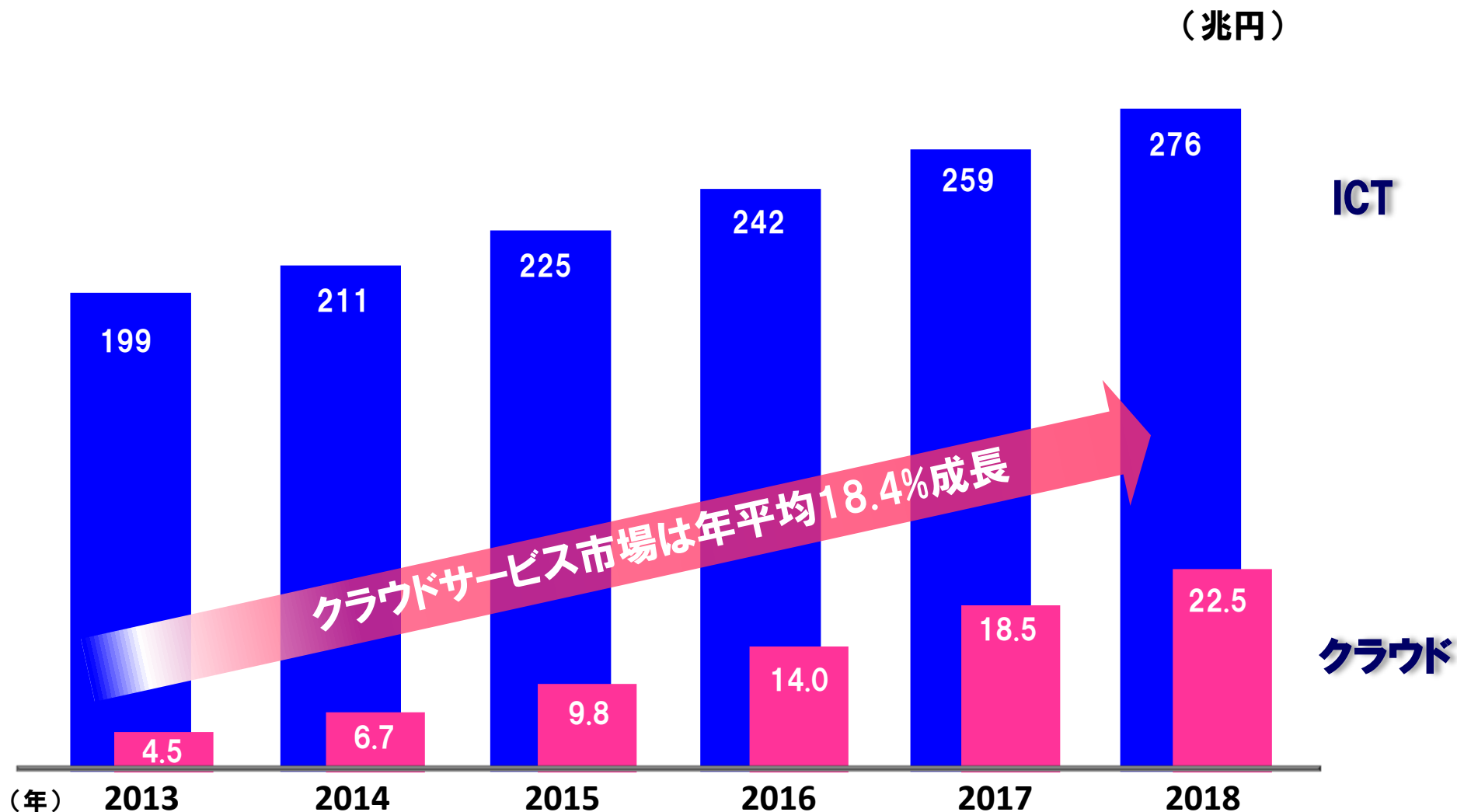


フリー
メール



インターネット
バンキング





※日本円は2016年11月29日時点のレート(112.36円)を基に算定

(出典)総務省 情報通信白書

フルスタック & フルライフサイクル

インフラからアプリケーションまで、コンサルティングから保守・運用まで

クラウドサービス

アドバイザリー
サービス

移行
サービス

運用
サービス

マネジメント
サービス

NTT Data

everis

itelligence

NTT docomo

dimension
data



NTT Communications

e-shelter
arkadin

Virtela

RagingWire
DATA CENTERS

アプリケーション
ソリューション

マネージドICT

データセンター
ネットワーク

 NTT Security

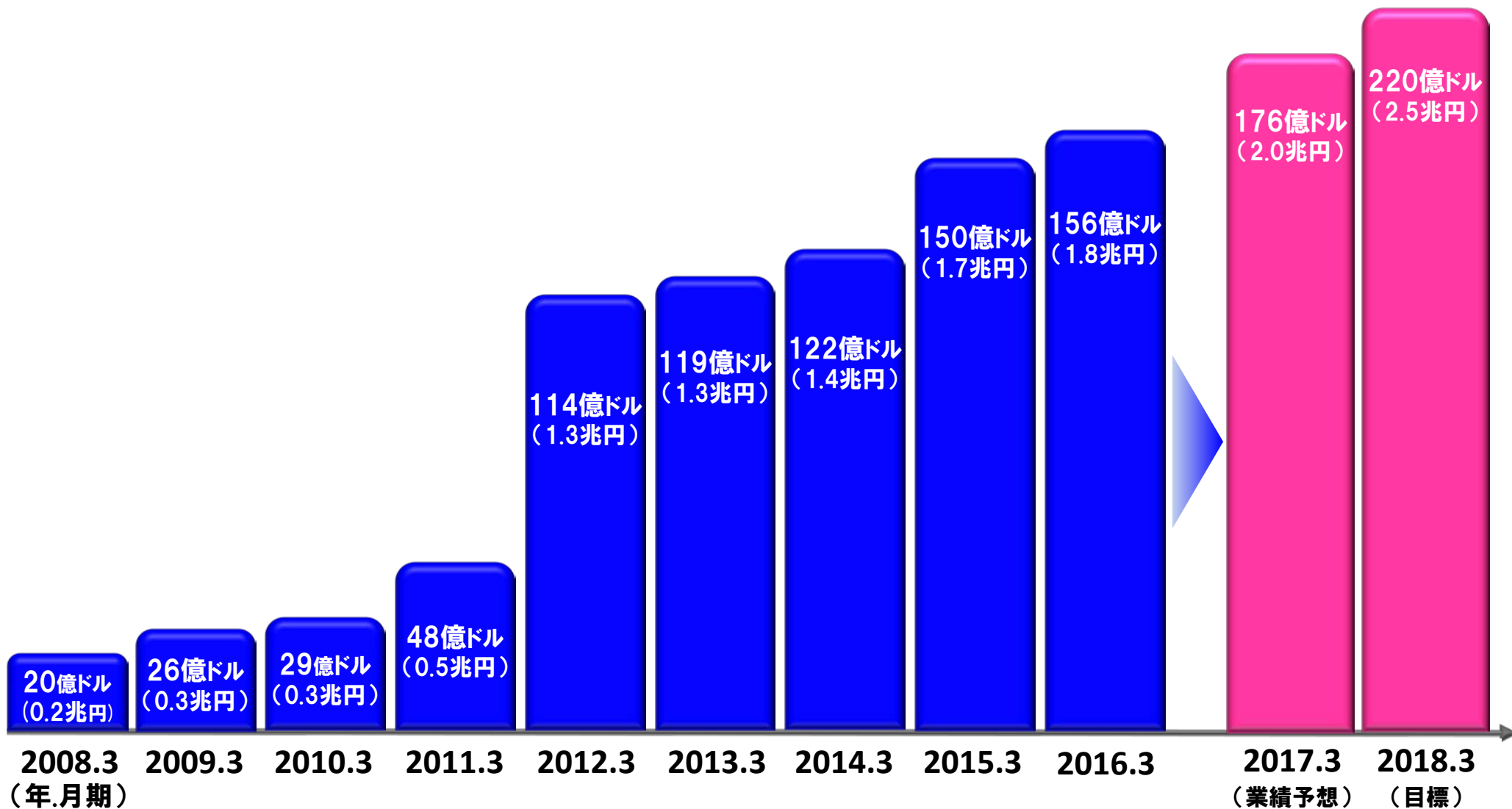
R&D

NTT
INNOVATION
INSTITUTE,
INC.

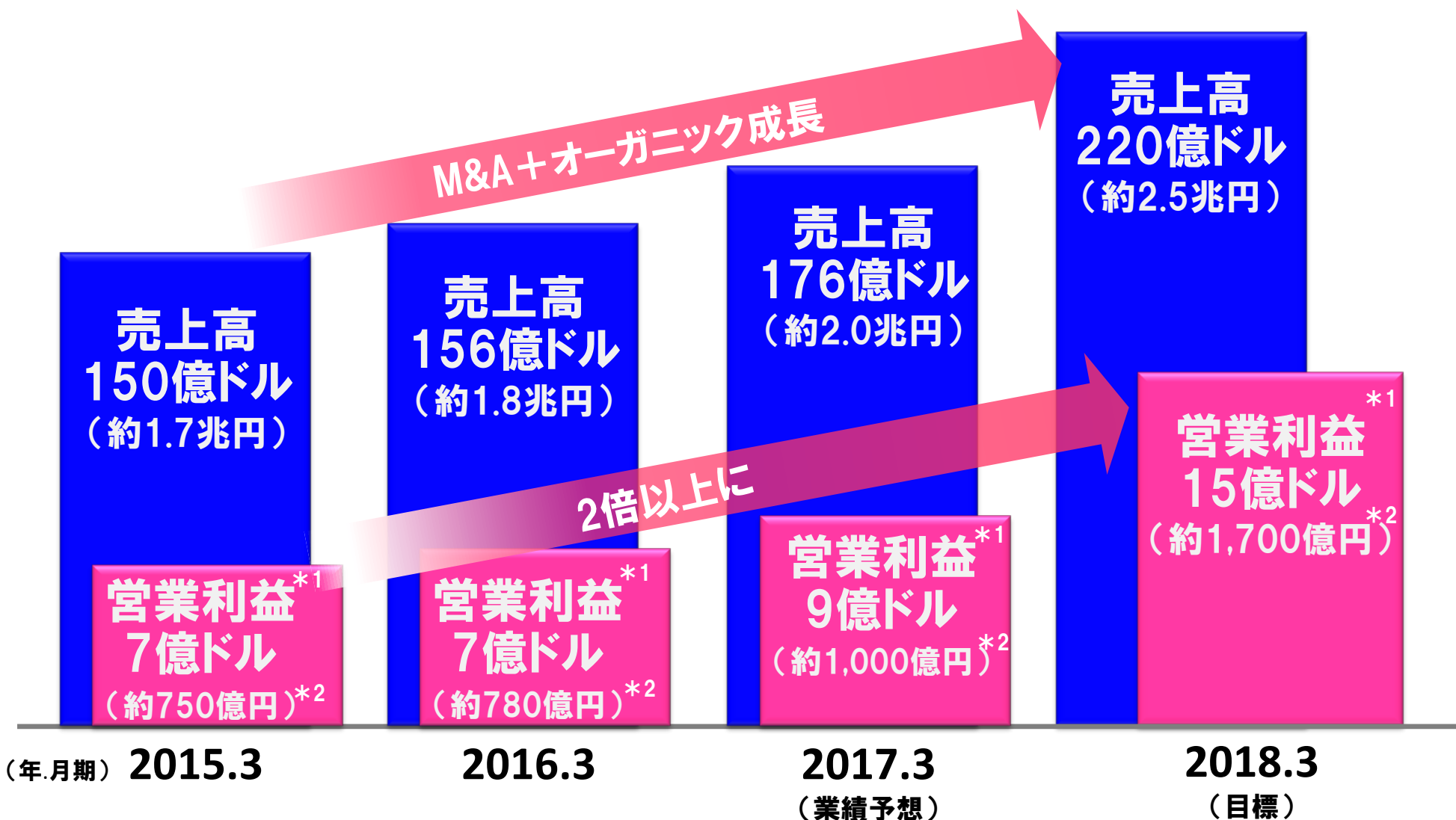


ユーザ企業

サービスレイヤー



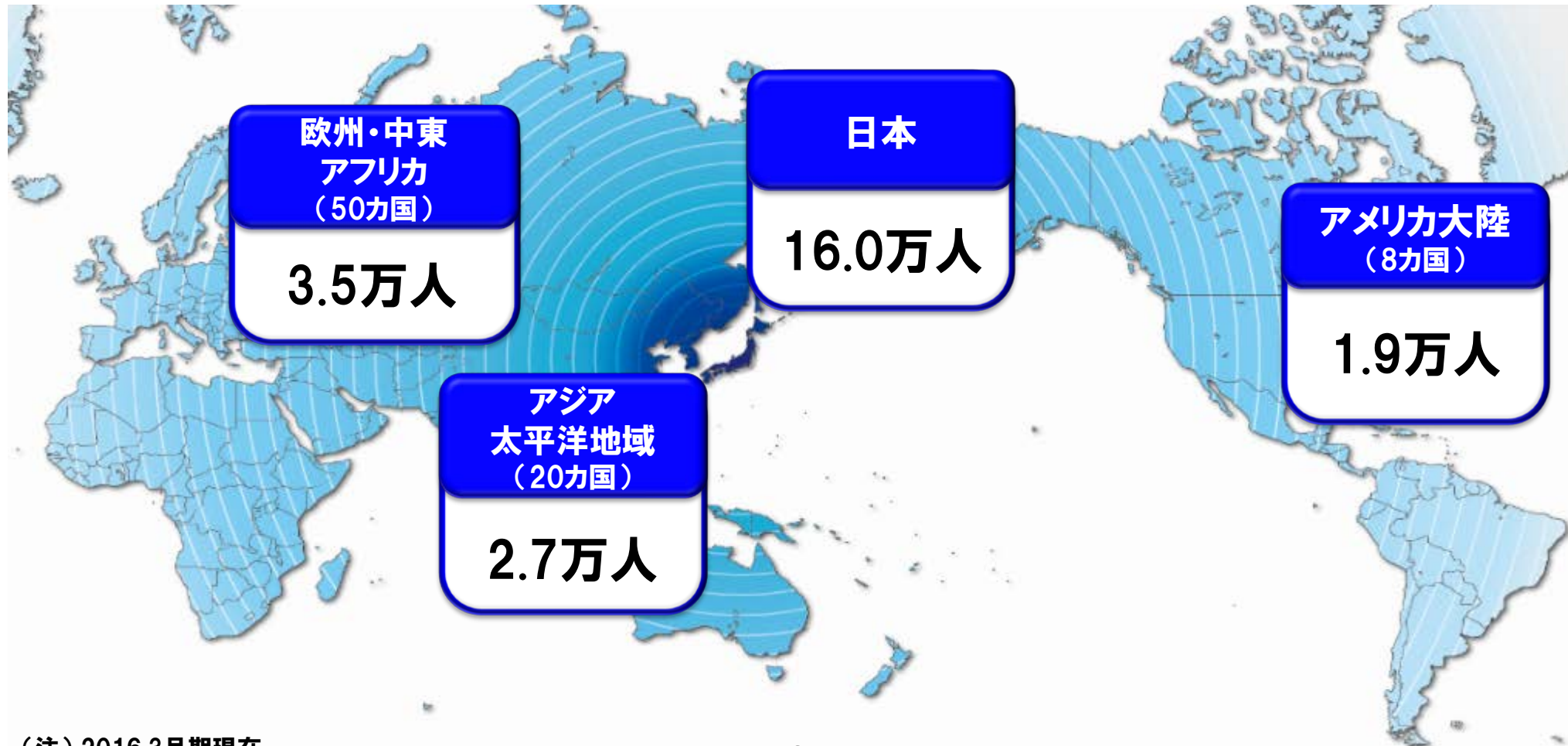
※日本円は2016年11月29日時点のレート(112.36円)を基に算定



*1 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益

*2 日本円は2016年11月29日時点のレート(112.36円)を基に算定

サービス提供：**196**の国・地域
全従業員の**約34%**が海外で勤務



(注) 2016.3月期現在

主なクラウドサービス受注実績



AMERICAS

2014/3.1Q

NTT DATA dimension data NTT Security

米 テキサス州交通局

- クラウド移行、アプリケーション開発・保守運用
- ITO・総合セキュリティサービス

2014/3. 4Q

NTT DATA NTT Communications

ヘルスケアメーカー

- ERP等のクラウド移行
- ITO

2014/3. 4Q

NTT DATA dimension data

重工業メーカー

- ビジネスプラットフォーム構築
- ITO

2015/3. 4Q

NTT DATA NTT Communications

酪農業

- クラウド移行
- データセンターサービスの提供

2016/3. 1Q

NTT DATA dimension data

医療機器メーカー

- アプリケーションのクラウド移行
- データセンターサービスの提供

EMEA

2015/3. 1Q

NTT DATA dimension data

英国財務省

- クラウド移行、ビジネスプラットフォーム構築
- ネットワークインフラ構築

2016/3. 1Q

NTT DATA dimension data NTT Communications

医療機関

- ITO
- ネットワーク機器の調達・構築
- データセンターサービスの提供

2016/3. 4Q

dimension data NTT DATA NTT Communications

製造業

- クラウド・データセンターのマネジメントサービス
- アプリケーションのクラウド移行

2016/3. 4Q

dimension data NTT DATA NTT Communications
HEIDELBERGER DRUCKMASCHINEN AG社
(製造業)

- コミュニケーションサービスの提供
- ITO

2017/3. 1Q

NTT Communications NTT Security

Admin Re社

- データセンターサービスの提供
- ITO・総合セキュリティサービス

日本

2014/3. 3Q

NTT Communications dimension data

全日空

- UCaaS(クラウド型コミュニケーションサービス)の構築・運用

2015/3. 2Q

dimension data NTT Communications

金融機関

- データセンターサービスの提供
- データセンター内機器の調達・構築

APAC

2014/3. 2Q

dimension data NTT Communications

May Bank

- データセンターサービスの提供
- データセンター内機器の調達・構築

2016/3. 4Q

NTT DATA NTT Communications

金融機関

- アプリケーション マネジメント アウトソーシング
- ビジネス プロセス アウトソーシング

2017/3. 1Q

NTT DATA dimension data

オーストラリア ビクトリア州交通局

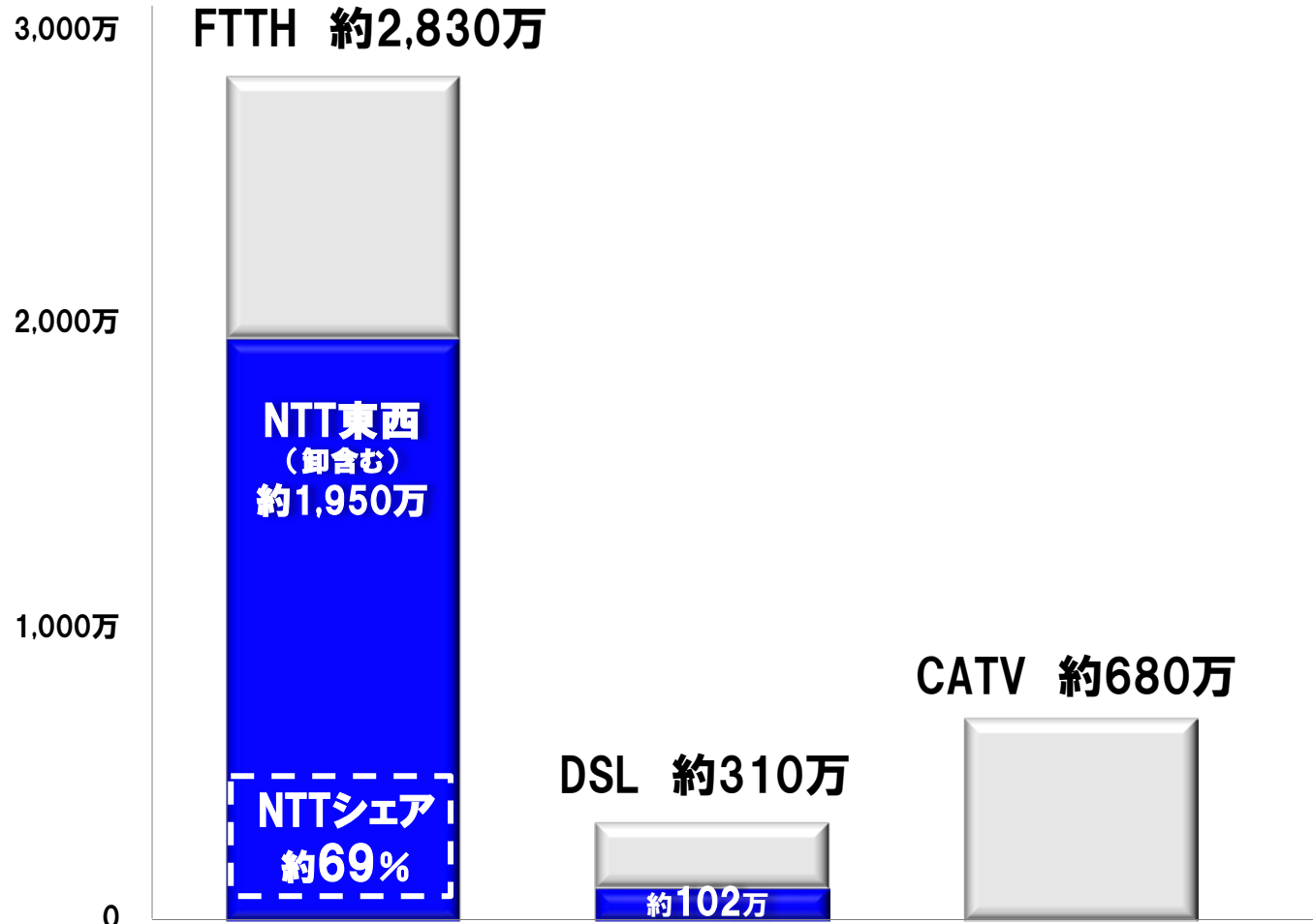
- 交通系ICカードシステム開発・運用

- ・イントロダクション
- ・グローバル・クラウド事業
- ・**国内ネットワーク事業**
- ・2020に向けて
- ・株主還元

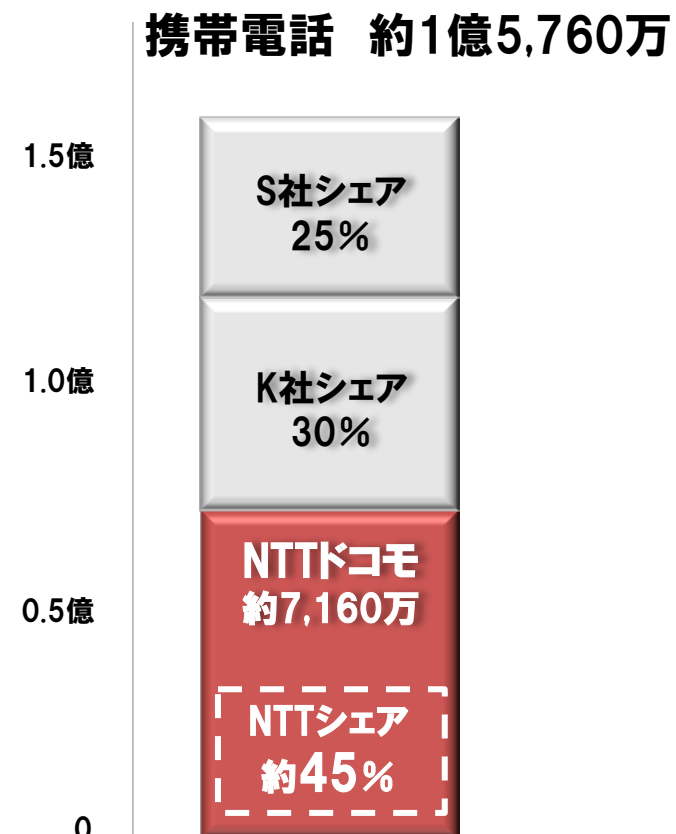
固定

移動

(契約)

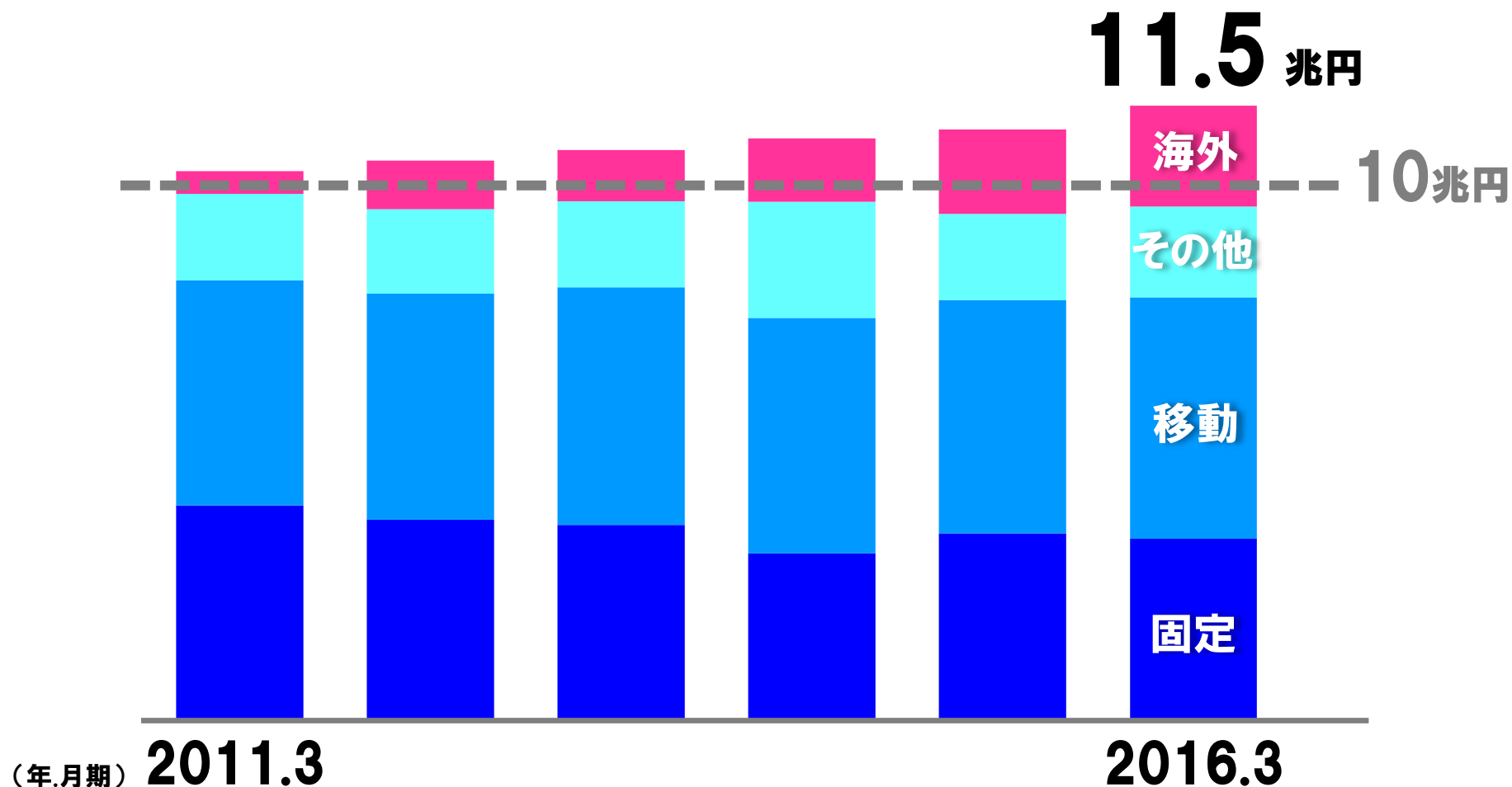


(契約)

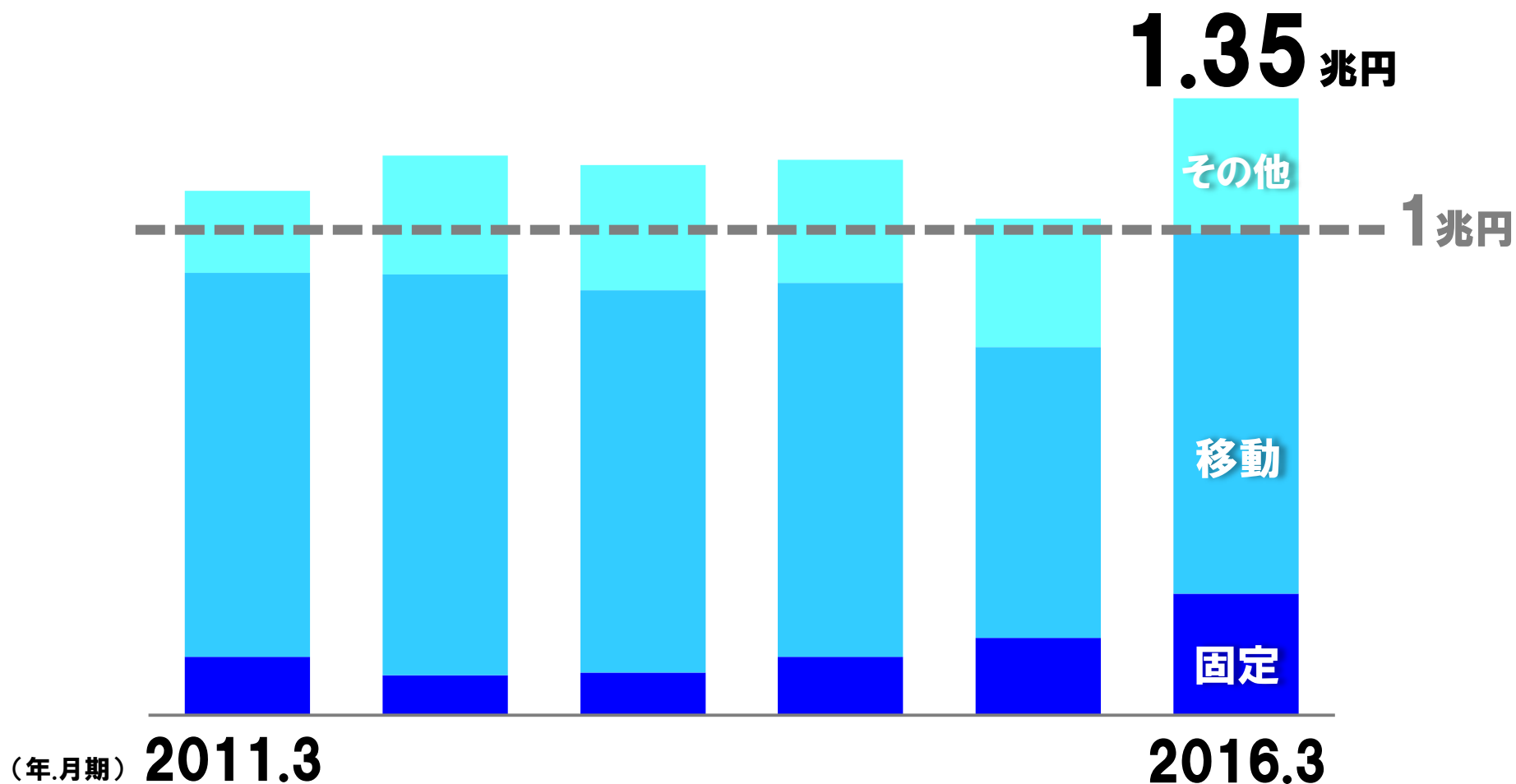


(出典)総務省公表値 2016年6月末時点

安定した10兆円規模の営業収益

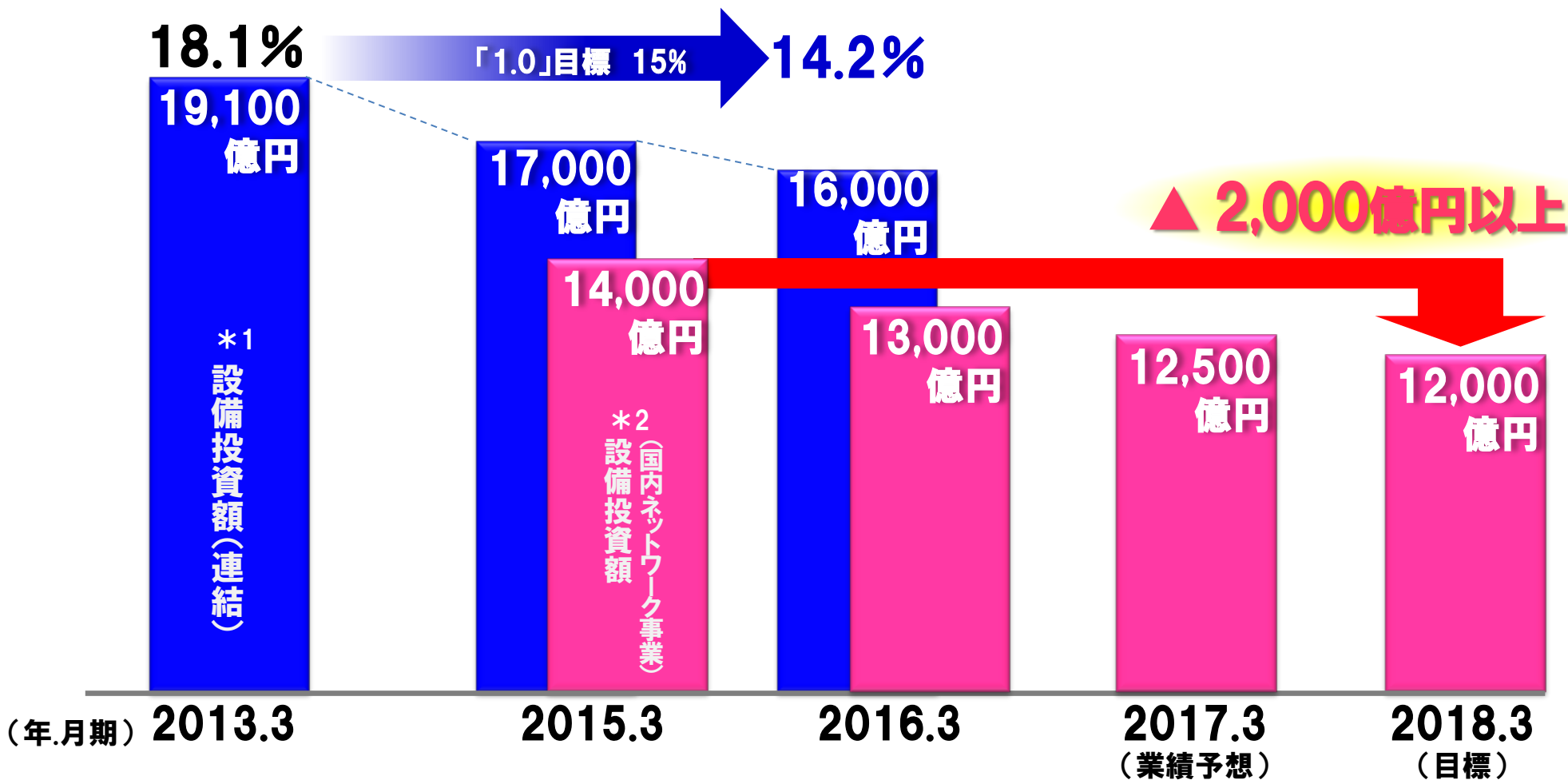


1兆円以上の利益創出



Capex to Salesの改善

国内ネットワーク事業の効率化



*1 不動産関連を除く
*2 コミュニケーションズのデータセンター等を除く

固定/移動アクセス系で8,000億円以上削減

2012.3 ~ 2015.3 2016.3 ~ 2018.3(目標) (年.月期)

▲6,500
億円

▲4,100
億円

▲3,900
億円

▲ 8,000億円以上

2014

2015

2016

新料金プラン
提供開始

新料金プランの
充実

通話利用の
少ないお客さま

ご利用の少ない
お客さま

長くご利用の
お客さま

ご利用の多い
お客さま

ドコモケータイを
ご利用の
お客さま

- 「カケホーダイ&パケあえる」・「ずっとドコモ割」・「U25応援割」

- 「データLパック」・パケットくりこし・追加購入データ量の利用期間延長

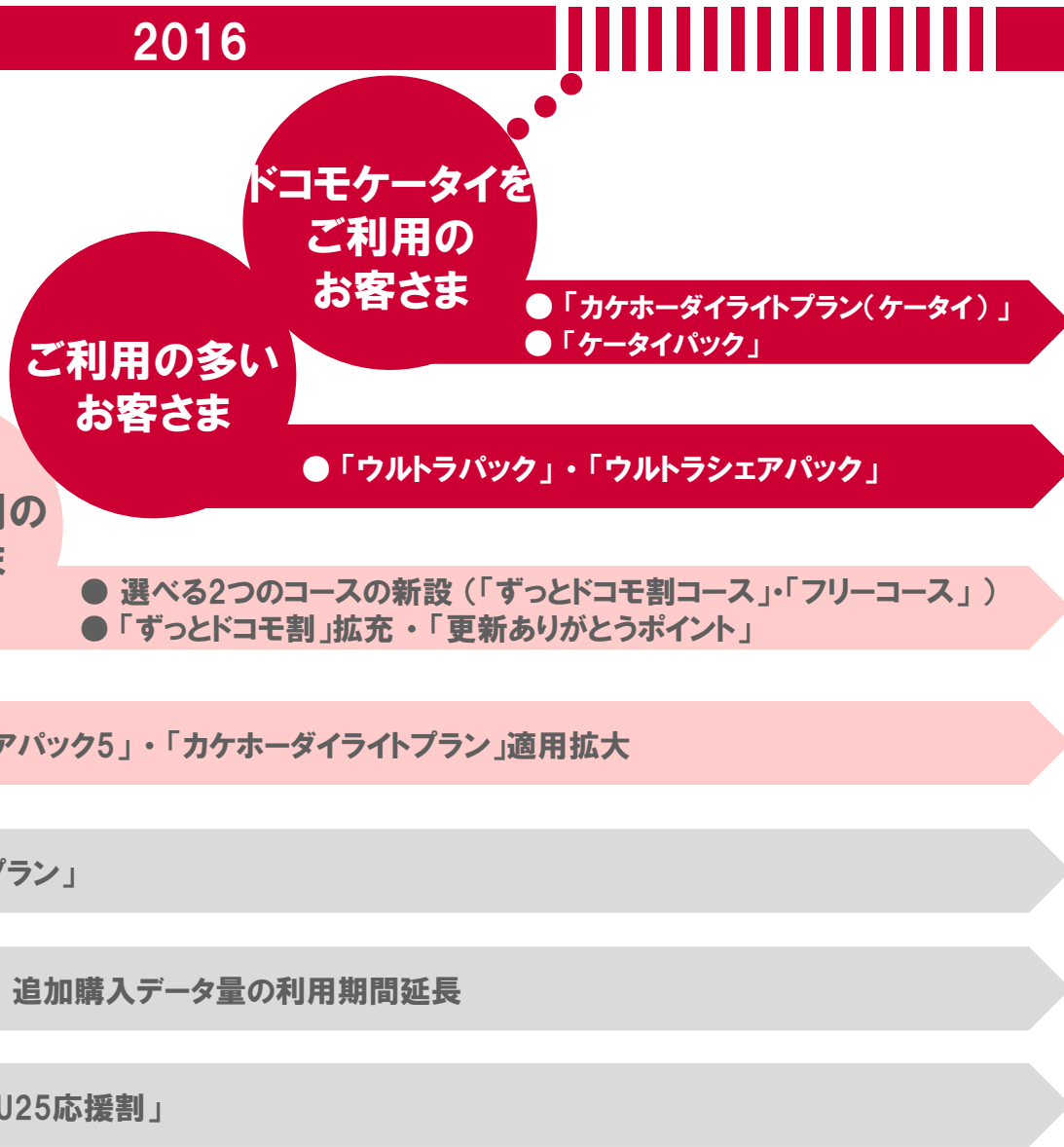
- 「カケホーダイライトプラン」

- 「シェアパック5」・「カケホーダイライトプラン」適用拡大

- 選べる2つのコースの新設（「ずっとドコモ割コース」・「フリーコース」）
- 「ずっとドコモ割」拡充・「更新ありがとうポイント」

- 「ウルトラパック」・「ウルトラシェアパック」

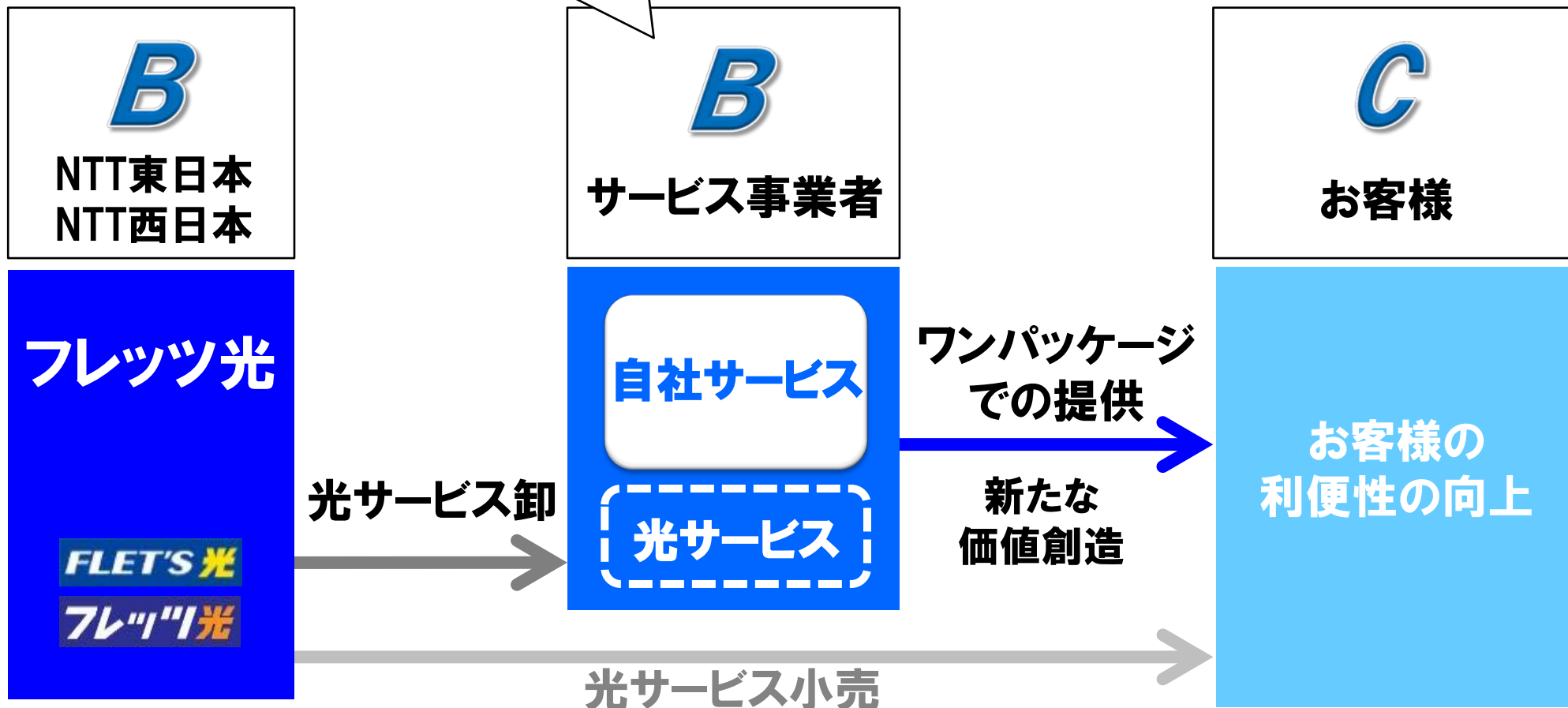
- 「カケホーダイライトプラン（ケータイ）」
- 「ケータイパック」



「光コラボレーションモデル」

光サービス事業者 約**450**社^{*1}

契約数 約**690万**契約^{*2}



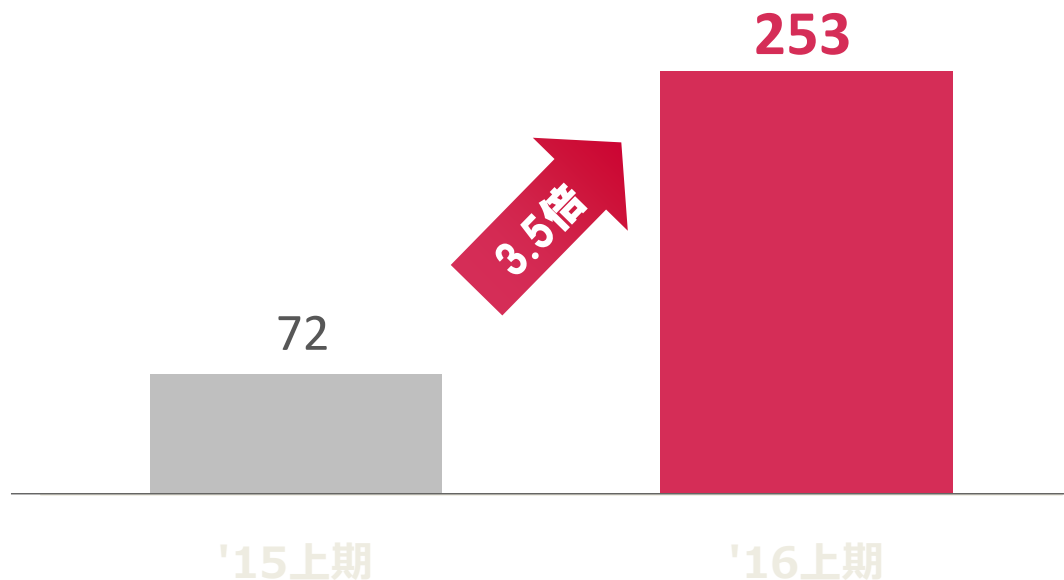
*1 2016年10月末時点

*2 2016年9月末時点

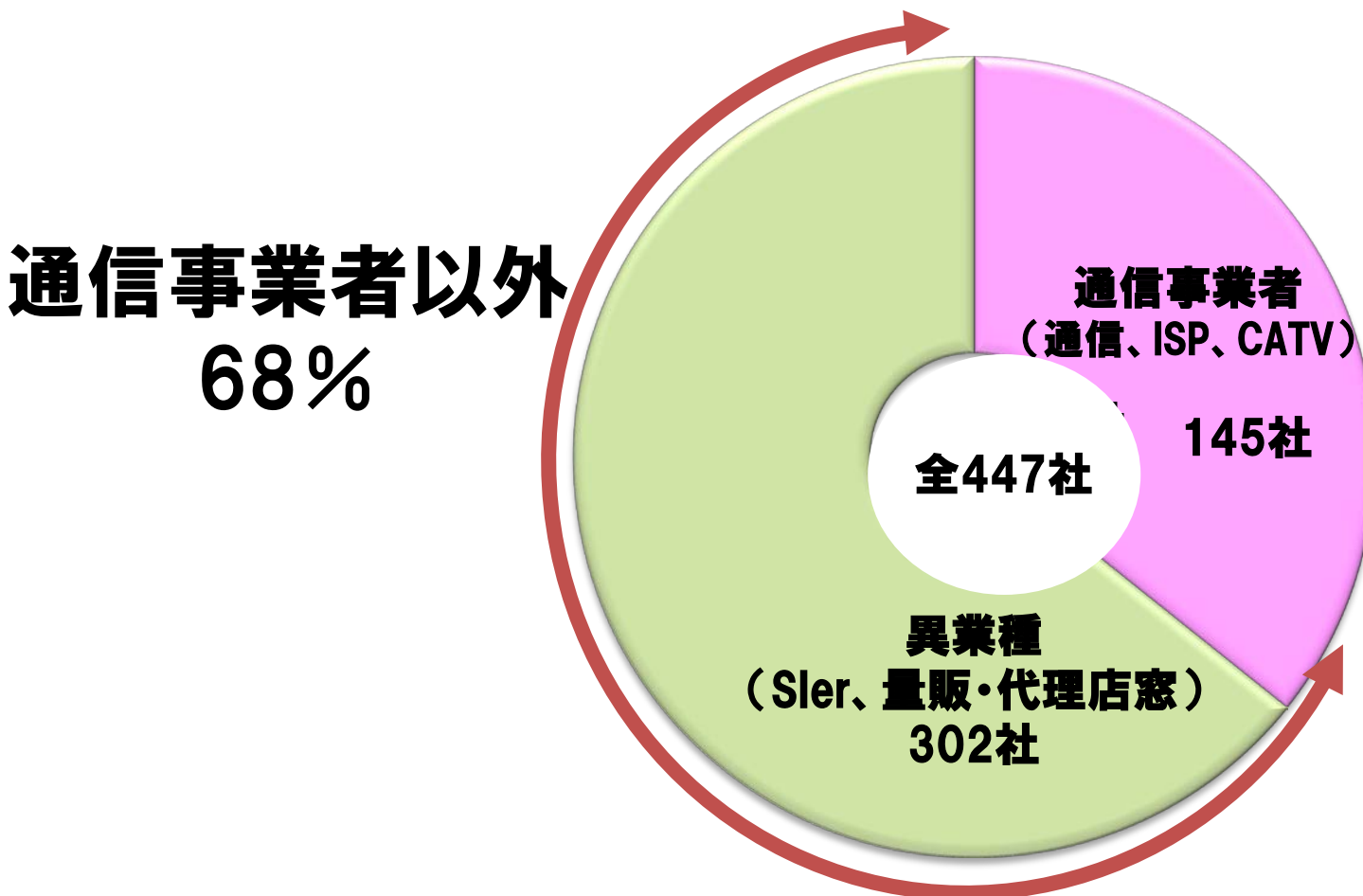
2015年3月1日 サービス開始

契約数 **250万** 契約突破

ドコモ光 契約数 (万契約)



新たなアライアンスパートナーとの協業により 新規需要を開拓



(数字は2016年10月末時点のサービス提供事業者の内訳)

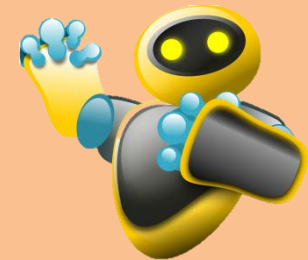
- ・イントロダクション
- ・グローバル・クラウド事業
- ・国内ネットワーク事業
- ・**2020に向けて**
- ・株主還元

スポーツ貢献



B2B2X

IoT/AI



地域創生



海外

The Open ジ・オープン(英国)

飛距離・軌道、
ツイートマップ(世界)



Tour de France ツール・ド・フランス(仏)

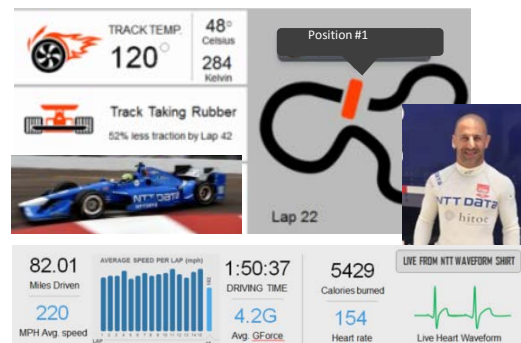
レーサー位置、
スピード、時間差、
映像&データ連携

※Six Day London (欧州人気の
室内自転車イベント)では、
車輪回転数、心拍数も計測



Indianapolis 500mile Race インディ500(米)

走行状況、
レーサーのバイタル



日本

アルペンスキーW杯 (苗場)

大会公式アプリ(選手情報、
結果、マップ 他)、映像配信



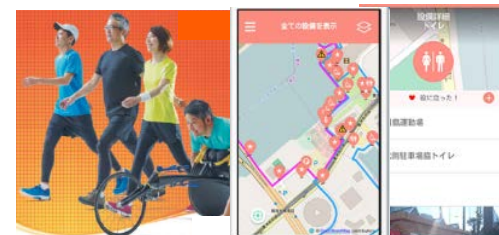
世界トライアスロン シリーズ(横浜)

トライアスロン公式アプリ
ライブ動画IP配信(パラ競技)



ジャパンウォーク (東京)

ユニバーサルデザイン情報
(Webアプリ)の提供



2016年7月20日リリース

Jリーグ、DAZN、NTTグループ「スマートスタジアム事業」協業契約締結

～スタジアム・ホームタウンの ICT 化で、日本のスポーツ界に新たな感動と体験を～

スマートスタジアム化の目的

提供価値

1. 最新技術を使った新たな映像サービスと観戦スタイル
2. スポーツを契機としたデジタルマーケティング



**地域とつながる
スポーツ産業の発展**
～2020以降のレガシー創造～



NTTグループの強み(Jリーグへの貢献)

顧客リーチ

モバイル7千万などの幅広い顧客基盤

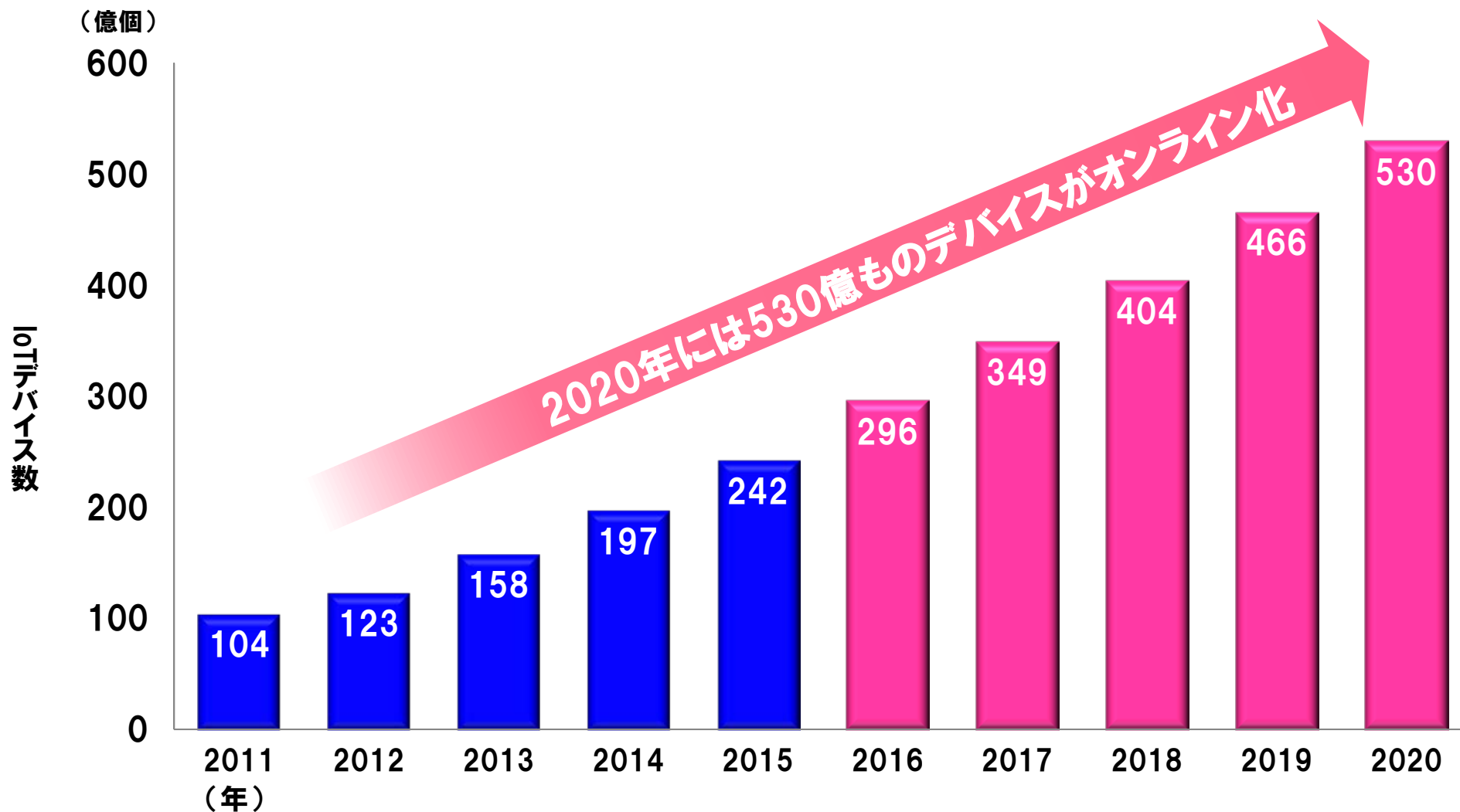
情報通信サービス

モバイル/Wi-Fi/光ブロードバンド、
映像配信システム、ビック・データ

地域リレーション

全国の拠点・地域密着、歴史とブランド

インターネットにつながるモノの数の推移・予測





社会的課題の克服

産業競争力の強化

製造、自動車、医療、地方自治体、etc....

オープン & コラボレーション



2016年7月28日リリース

IoTにより製造・生産の最適化を実現するファナックの「FIELD system」のサービスインに向けた協業に合意

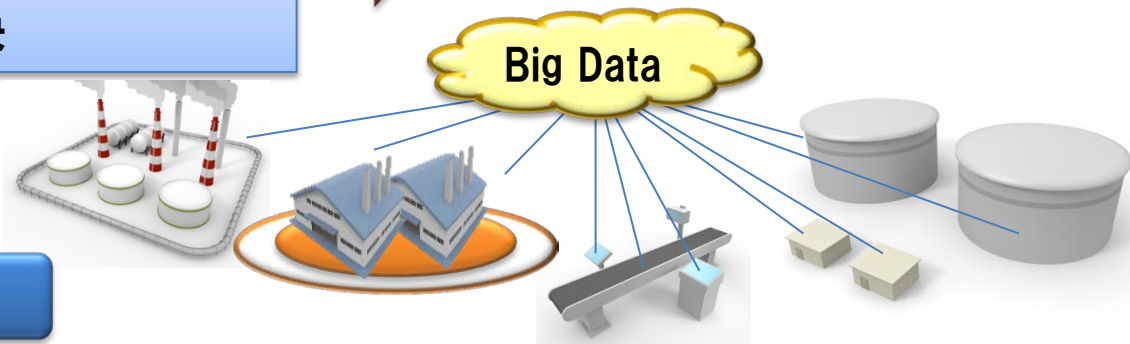
～エッジコンピューティング技術とICT基盤をNTTグループ全体で提供サポート～

協業の目的

狙い

1. 製造業の現場で使用される各種機器をネットワークで接続
2. 収集したデータを解析し、工場内の課題を解決

生産性向上と効率化
を実現する
スマートファクトリー



NTTグループの強み

エッジコンピューティング

- ・ 通信遅延短縮
- ・ トラフィック軽減

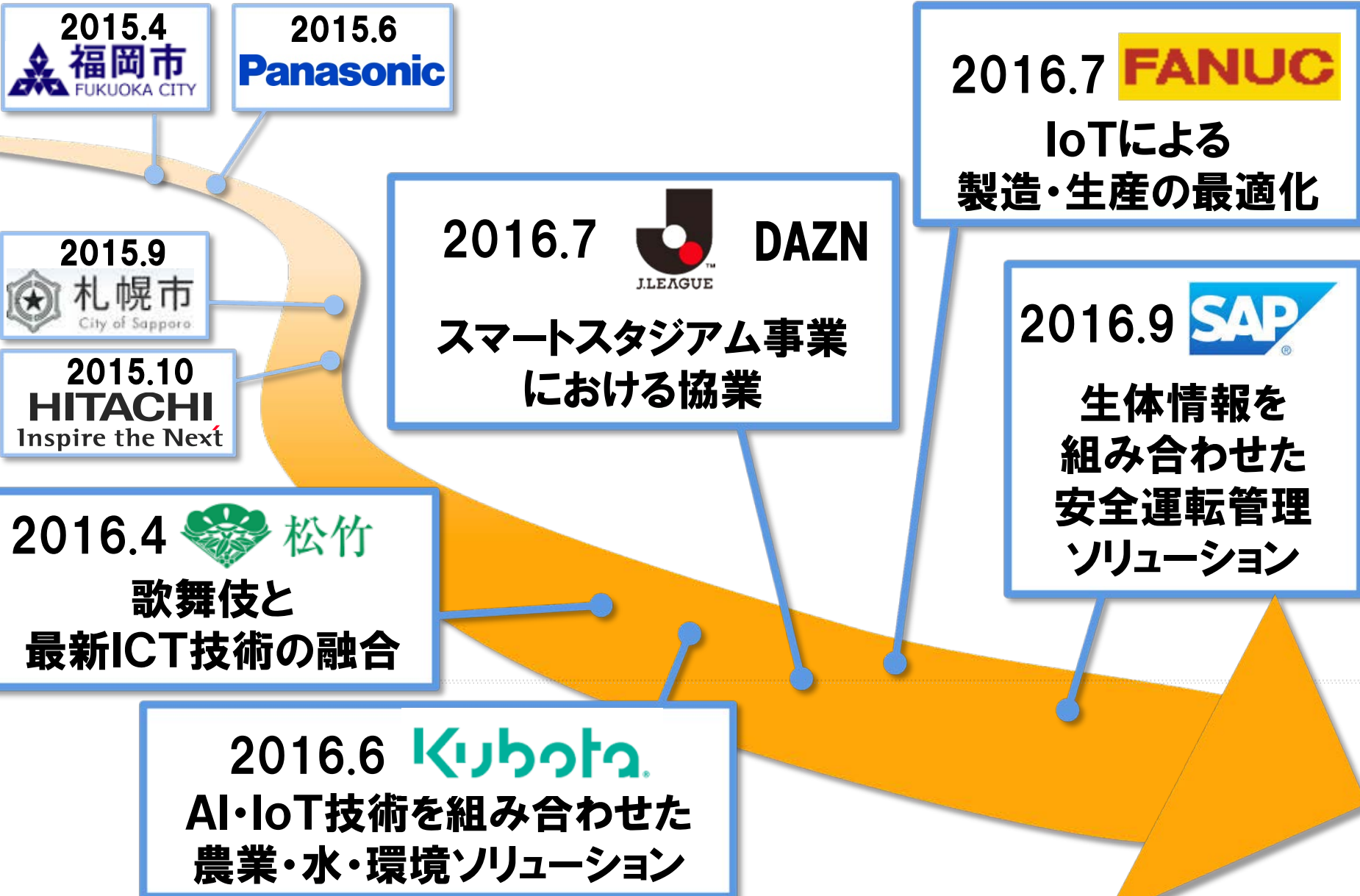
ネットワーク・データセンター

- ・ グローバルにカバーできるICT基盤

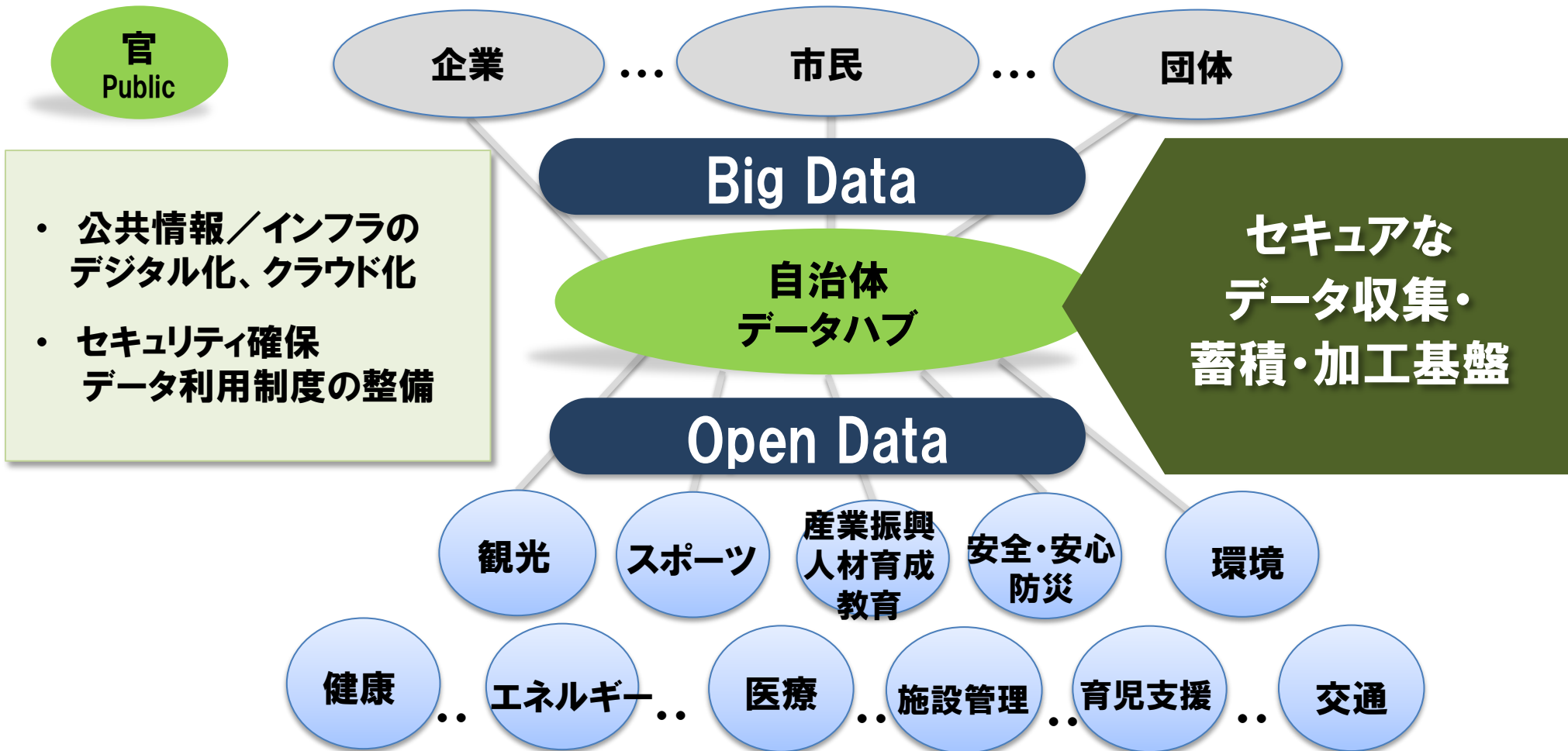
ビックデータ分析力

- ・ 豊富なデータ解析技術
- ・ コンサルティング力

B2B2Xモデルへの取組み状況

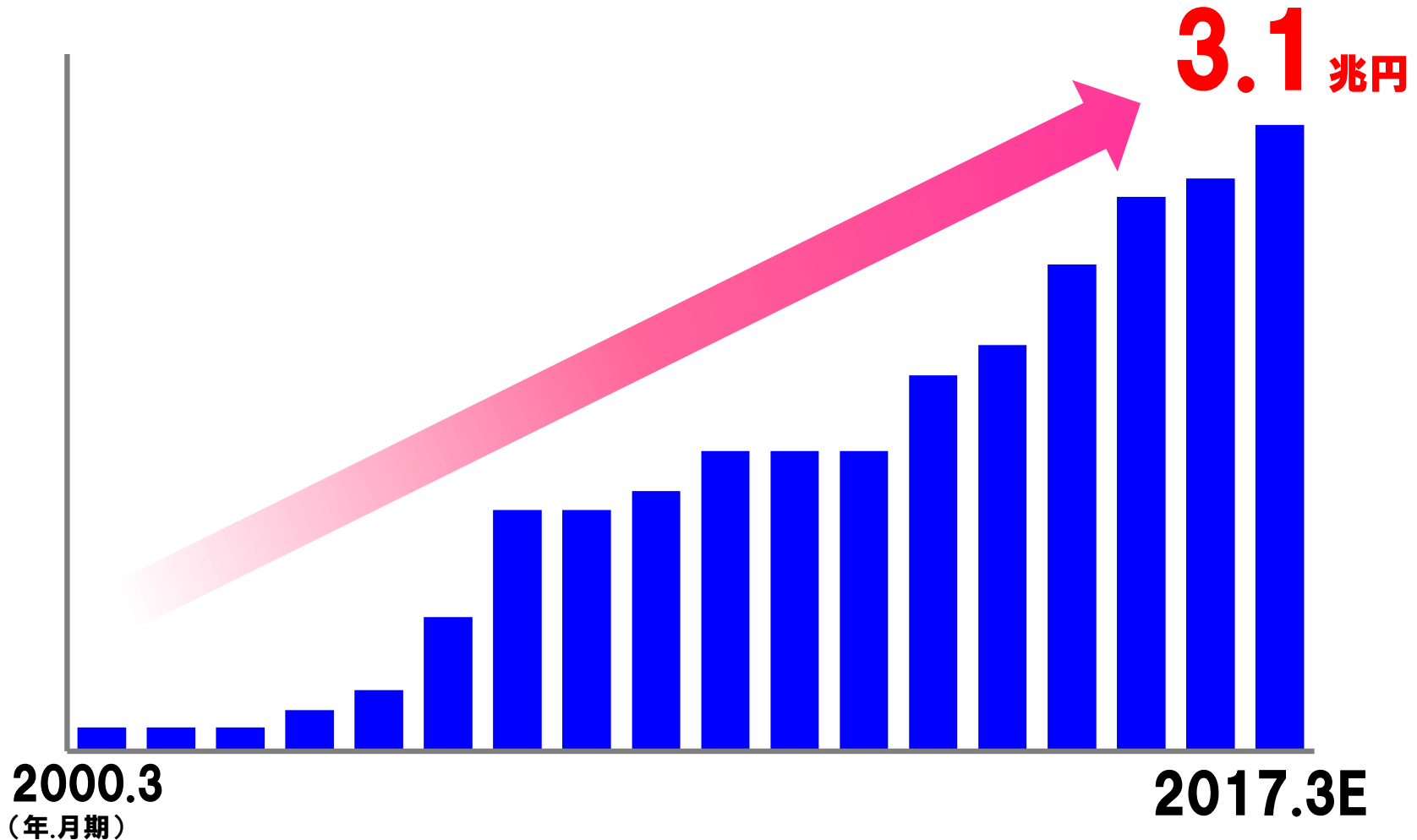


自治体をデータのハブへ (行政サービス、社会インフラ連携を通じた地域の社会的課題の解決)



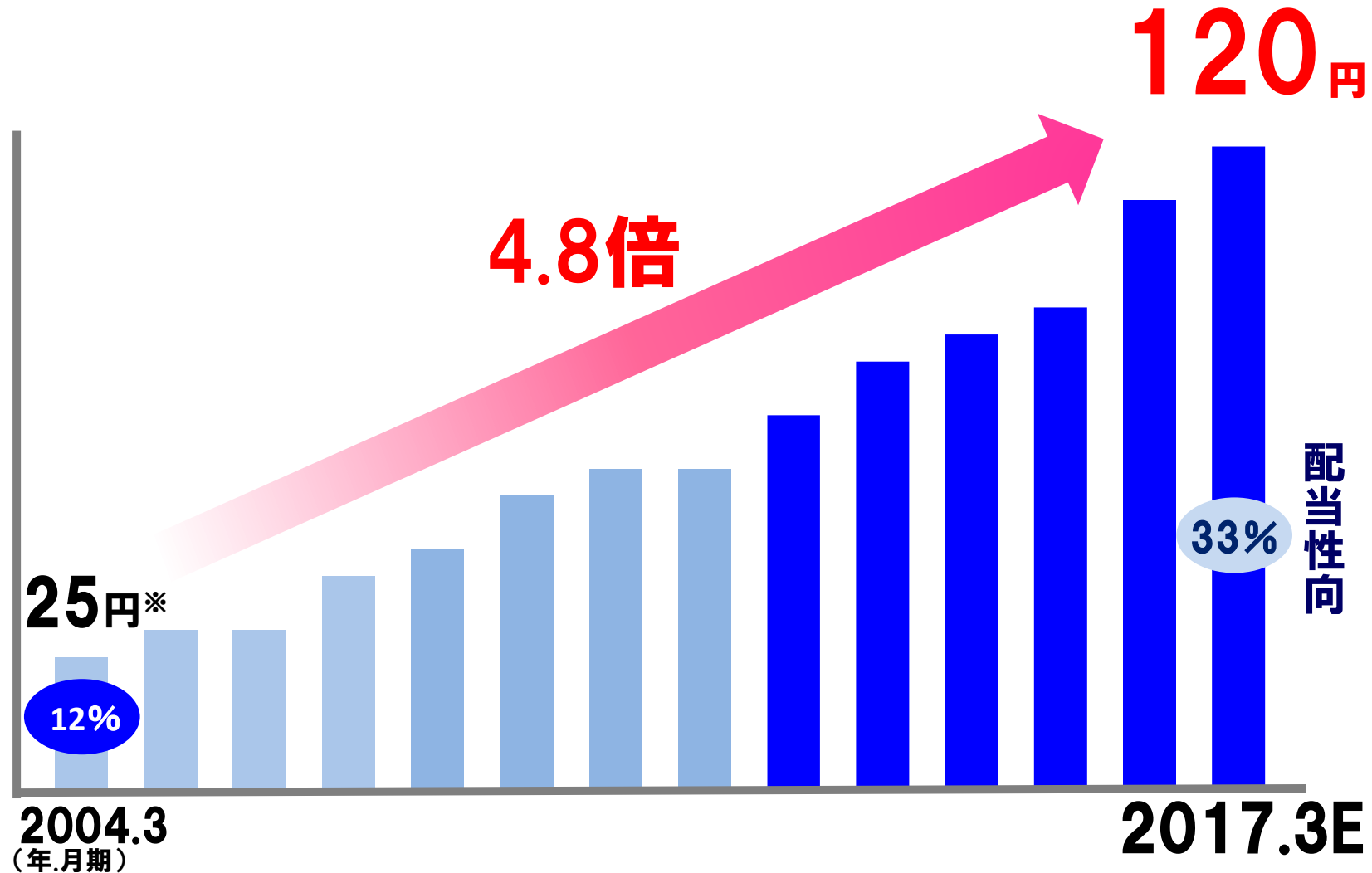
- ・イントロダクション
- ・グローバル・クラウド事業
- ・国内ネットワーク事業
- ・2020に向けて
- ・株主還元

累計3.1兆円の自己株式取得



(注) 数値は累計額

6期連続増配



配当性向

高い配当利回り

日本国債10年利回り

0.02%^{*1}

東証1部平均
配当利回り

1.7%^{*2}

<

NTT株
配当利回り
2.6%^{*3}

*1 財務省公表「国債金利情報」(2016年11月29日)を基に算出

*2 2016年11月29日時点の株価情報を基に算出

*3 数値は2016年5月13日公表の業績予想ベース、株価は2016年11月30日時点の株価情報を基に算出

- **イントロダクション**
- **グローバル・クラウド事業**
- **国内ネットワーク事業**
- **2020に向けて**
- **株主還元**



Next Value Partner

for

Transformation

of Business models and Lifestyle

by

Trusted Solutions

*of Global, Secure, End-to-end,
and Full-line ICT services*